

小浜西組町並み協議会 22年度 第5回役員会報告

日 時：平成23年2月9日（水） 19：30

場 所：鹿島 町並み保存資料館

出席者：役員21名のうち、出席12名、委任3名により会が成立

1. 小浜市より報告、依頼事項（前野課長より）

7/1の市長への環境整備要望の経過報告：

1) 主要道路の地中化、融雪、舗装について

十分な認識をもってやっております。大きな事業は振興計画、歴史まちづくり法などに基づいて行っていきます。

2) 小学校跡地利用

平成18年から21年が国の重要遺跡調査の期間で、発掘を行いました。今後は緊急雇用対策で出土した物の調査を行いますので、跡地利用については今少し先の話になります。

3) 小浜口ツジ跡地利用

観光交流課の12月補正予算で、2,991,000円の調査費がつきました。この予算で駐車場の問題などともからめて計画していきます。

4) 防災計画、二号消火栓の整備について

防災計画の策定を急ぎます。



2. 一門一灯について

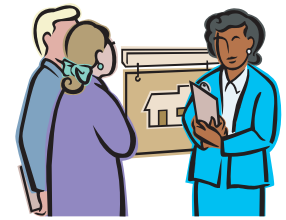
本年度、国の補助金が1,000,000円、県が400,000円出ました。これに協議会の本予算分50,000円を足して1,450,000円の予算をいただきました。現在あんどんを200個製作しております。仕上げは活性化部会のほうで行いますが、お手伝いいただける方はぜひよろしくお願ひします。また、大量に完成した暁には、役員様には、ご購入をよろしくお願ひします。

3. 空き家対策事業について

暮れからお世話になっておりました空き家の下調べが、役員の皆様のご協力で滞りなく終了しました。市役所と協議して、空き家の持ち主の方に意思確認の文書を

発送させていただきます。

とりあえず空き家を貸す気があるか、売る気があるかの意思確認だけを文書にて行い、活用を希望される方にはその後調査票を送付して掘り下げたデータを収集します。



4. その他

重伝建選定時に市が策定した「保存計画」について、意見が交わされました。

防災計画など、大切なことが盛り込まれていますが、これについて協議会より市当局へ要望したいと存じますので、役員さんでご都合のつく方にご足労願ひ、市役所を訪れたいと思います。

また、佐野活性化部会長より報告がありました。

本年10月8日、9日の両日、恒例の「食のまつり」が行われます。本年は市制60周年ということで、規模的には例年の1.5倍の規模で行われるそうです。

例年16時くらいには終わりますが、本年はそれから西組に回遊する仕組みを作って宵の西組を演出する企画も温めているそうです。

最後に、石野副会長から西組協議会と市との共催で行う各区のでの現状説明会についてご意見が出ました。

マスタープラン、防災報告会、空き家、一門一灯など西組協議会の取組み、重伝建事業の進捗と今後の見通しなどについて、各区を回って、もしくは2区をまとめて開催する趣旨のものですが、もう少し暖かくなってから開催してはどうかという会長のご回答でした。

小浜西組地区防災ワークショップ報告会開催

平成23年2月14日（月）小浜鹿島の福祉センターにおいて、昨年2回にわたって行なわれた防災ワークショップを通じて明らかとなった課題をもとに、立命館大学環境防災設計研究室主催の報告会が行なわれました。

地区住民（民生委員含む）をはじめ、防災・観光関係者（若狭の語り部含む）市職員の方約50名が出席しました。

この日の報告会は研究室の先生と学生さんから小浜西組地区の防災計画の提案があり、その説明をききながら事前に配られた意見記入シートに各自意見を書いていくという方法で行なわれました。この提案の中に一門一灯のあんどんを避難誘導灯



大窪教授と学生さん

に活用することがあげられていたのが印象的でした。

大窪教授は「今日のみなさんからの意見を参考に報告書をまとめます。小浜市におきましても実行力のある防災計画にしてください。防災に対しての取組みは市民の力が大であると思います」と話されました。

昨年2回のワークショップに参加できず、今回初めて出席した女性の方は「いき



出席者のみなさん

なりこのような報告を聞いてもたいへん理解しづらくて、意見を書くこともできなかった。でも小浜西組の防災のために、これだけ一生懸命取り組んでくださる方がいることを知って感謝の気持ちがわきました。」と終了後の感想を言ってくれました。



河村徳行さん
(小浜大原区)



小浜西組町並み保存地区の修理事業の建具工事を
行なったり、一門一灯のあんどんを製作している河村
徳行さん(60歳)にお話を伺いました。

— 河村さんは建具店として三代目とおききしていますが、
どなたから教わりましたか？

河村さん：先代の父親と京都へ修業に行った兄弟子が
帰ってきて教えてくれました。

— 昔は建具屋さんのことを指物屋とか指物大工とかいい
ましたが、河村さん自身はどのように思っていますか？

(指物とは木の板をさし合わせて組み立てて作ったタンス、箱、机、火鉢等のこと)

河村さん：指物大工とは思っていませんが、そんな風に呼ぶ人があります。ほと
んど建具を作っていますので建具屋さんでいいです。

(建具とは部屋および建物の内外の開閉部の障子、フスマ、戸等のこと)

— 建具も時代と共に寸法やデザイン等変わってきていると思いますが、どのように
変わってきていますか？

河村さん：組子の障子については、一時期マスが大きくなっ
ていたのですが、今は又、昔のように小さくなってきています。
建具の高さは昔は五尺八寸(1760ミリ)と決まっていた
ますが、今の人は背が高くなっているので六尺(1800ミリ)、既製
品の建具だと六尺六寸(2000ミリ)という大きさがあります。



建具の一例

逆に建具の巾は狭くなってきています。それは関東間にあわせて作ることが多いからです。(関東間は1坪3.30㎡で、関西間1坪3.88㎡より少し狭い)

— ^{おとし}昨年からの修理事業の建具工事をされた中で、苦勞した点や印象に残っている仕事があれば教えてください。

河村さん：現在の“カフェいまあらし”さんは今まで使っていた格子を一度全部分解して作り直しました。手間もかかりやりにくい仕事でしたが、古い物を再生することはやっっておもしろいものです。



指物道具 (携帯電話と大きさを比較して下さい)

今後、伝統的な家屋を保存していくうえで建具は重要な役割を占めるものだと思います。河村さんはその技術と知識を持ち合わせた人であり、後継者を育成し指導していかなければいけない立場にある人だと思いました。

小浜西組町並み協議会からの ●活動報告とお知らせ●

企画運営部より

- 今年も雛飾り展を行います。併せて、手作り人形や小物作品も展示いたします。お気軽にお越しください。

日時 2月23日(水)～3月14日(月)
午前10時～午後4時(火曜日休館日)



地域活性化部会より

- 一門一灯用のあんどん(コード付きのコンセント式)を200個製作中です。購入していただける方を受付けています。

1個 1500円です。

お申し込みは、佐野(浅間区) ☎090-8969-4232

または町並み保存資料館 ☎53-3443まで



電気代は1年間つけっぱなしでも140～150円です。
光センサーがついているので、昼間(明るい時)は自動で消えます。